

令和3年度

能代市水道事業下半期業務状況報告書
(令和3年10月1日から令和4年3月31日)

秋田県能代市

目 次

1. 事業の概況	1
(1) 業務に関する事項	1
(2) 各種工事に関する事項	1
2. 経理の状況	2
(1) 予算の執行状況	2
(2) 損益計算書	4
(3) 貸借借対照表	6
3. 令和4年度の予算の概要 及び事業の経営方針について	7

1. 事業の概況

(1) 業務に関する事項

本年度下半期（3月31日現在）の給水戸数は21,039戸、配水量は2,667,928 m³でした。

区分	令和3年度 下半期	令和2年度 下半期	比較	
			増減	増減率(%)
給水戸数(戸)	21,039	19,900	1,139	5.7
配水量(m ³)	2,667,928	2,572,692	95,236	3.7
1カ月平均配水量(m ³)	444,655	428,782	15,873	3.7
有収水量(m ³)	2,139,046	2,062,150	76,896	3.7
有収率(%)	80.2	80.2	0.0	—

(注) 令和2年度実績には二ツ井・荷上場簡易水道事業は含まない。

(2) 各種工事に関する事項

下半期における各種工事については、上半期において発注した仁井田浄水場1号送水ポンプ更新工事、港町排水区管渠改修工事に伴う配水管移設工事、長崎地区下水道工事に伴う配水管移設工事、中和地区配水管更新工事、中川原地区配水管更新工事、向能代地区配水管更新工事などの老朽管の更新工事を実施した。仁井田浄水場管理棟において耐震改修工事を、北部地区配水管整備事業では北部地区配水管布設に伴う舗装復旧工事を、解体撤去事業では臥竜山浄水場等解体工事を実施した。

2. 経理の状況

(1) 予算執行状況

①収益的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	予算額	執行額			予算額に比べ 執行額の増減	執行率
		上半期	下半期	合計		
第1款 水道事業収益	1,280,203,000	512,810,207	760,546,685	1,273,356,892	△ 6,846,108	99.47%
第1項 営業収益	1,019,158,000	511,328,503	505,633,126	1,016,961,629	△ 2,196,371	99.78%
第2項 営業外収益	213,044,000	1,481,704	211,313,559	212,795,263	△ 248,737	99.88%
第3項 特別利益	48,001,000	0	43,600,000	43,600,000	△ 4,401,000	90.83%

※金額は税込

支出

(単位:円)

区分	予算額	執行額			予算額に比べ 執行額の増減	執行率
		上半期	下半期	合計		
第1款 水道事業費用	1,130,502,000	254,244,940	845,056,548	1,099,301,488	△ 31,200,512	97.24%
第1項 営業費用	943,013,000	206,421,915	713,210,558	919,632,473	△ 23,380,527	97.52%
第2項 営業外費用	135,429,000	47,626,206	85,618,493	133,244,699	△ 2,184,301	98.39%
第3項 特別損失	51,560,000	196,819	46,227,497	46,424,316	△ 5,135,684	90.04%
第4項 予備費	500,000	0	0	0	△ 500,000	0.00%

※金額は税込

②資本的収入及び支出

収入

(単位:円)

区分	予算額	執行額			予算額に比べ 執行額の増減	執行率
		上半期	下半期	合計		
第1款 資本的収入	366,047,000	1,519,991	328,783,021	330,303,012	△ 35,743,988	90.24%
第1項 企業債	121,100,000	0	117,800,000	117,800,000	△ 3,300,000	97.27%
第2項 出資金	17,739,000	0	17,739,000	17,739,000	0	100.00%
第3項 国庫補助金	17,739,000	0	17,740,000	17,740,000	1,000	100.01%
第4項 他会計補助金	94,792,000	1,519,991	87,542,321	89,062,312	△ 5,729,688	93.96%
第5項 他会計負担金	18,179,000	0	18,179,700	18,179,700	700	100.00%
第6項 工事負担金	96,497,000	0	69,782,000	69,782,000	△ 26,715,000	72.32%
第7項 固定資産売却代金	1,000	0	0	0	△ 1,000	0.00%

※金額は税込

支出

(単位:円)

区分	予算額	執行額			予算額に比べ 執行額の増減	執行率
		上半期	下半期	合計		
第1款 資本的支出	818,028,000	288,674,590	480,496,776	769,171,366	△ 48,856,634	94.03%
第1項 建設改良費	332,110,000	46,904,920	236,349,647	283,254,567	△ 48,855,433	85.29%
第2項 企業債償還金	485,918,000	241,769,670	244,147,129	485,916,799	△ 1,201	100.00%

※金額は税込

(2) 損益計算書

①令和3年度下半期 能代市水道事業損益計算書
(令和3年10月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 円)

1. 営業収益			
(1) 給水収益	439,369,529		
(2) 受託工事収益	0		
(3) その他の営業収益	20,578,300	459,947,829	
2. 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	79,616,604		
(2) 配水及び給水費	45,497,340		
(3) 業務費	50,651,819		
(4) 総係費	15,858,059		
(5) 受託工事費	0		
(6) 減価償却費	247,583,609		
(7) 資産減耗費	11,356,975	450,564,406	
営業利益			9,383,423
3. 営業外収益			
(1) 他会計補助金	5,761,494		
(2) 長期前受金戻入	103,573,762		
(3) 雑収益	635,921	109,971,177	
4. 営業外費用			
(1) 支払利息	45,265,293		
(2) 雑支出	16,598	45,281,891	64,689,286
経常利益			74,072,709
5. 特別利益			
(1) 過年度損益修正益	0		
6. 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	48,800		
(2) 解体撤去事業費	39,662,000		
(3) 固定資産除却費	2,545,615	42,256,415	△ 42,256,415
当期純利益			31,816,294
前年度繰越利益剰余金			△ 118,697,667
その他の未処分利益剰余金変動額			0
当期末処分利益剰余金			△ 86,881,373

(注)

年度末に一括予算執行を行う減価償却費及び長期前受金戻入の下半期分は、決算額と上半期で推定した額との差を計上。

②令和3年度 能代市水道事業損益計算書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

(単位 円)

1. 営業収益			
(1) 給水収益	885,048,646		
(2) 受託工事収益	0		
(3) その他の営業収益	39,921,300	924,969,946	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
2. 営業費用			
(1) 原水及び浄水費	167,819,850		
(2) 配水及び給水費	81,302,897		
(3) 業務費	98,620,310		
(4) 総係費	32,849,141		
(5) 受託工事費	0		
(6) 減価償却費	494,174,109		
(7) 資産減耗費	11,356,975	886,123,282	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
営業利益			38,846,664
3. 営業外収益			
(1) 他会計補助金	6,577,308		
(2) 長期前受金戻入	204,863,762		
(3) 雑収益	1,250,039	212,691,109	
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
4. 営業外費用			
(1) 支払利息	92,891,499		
(2) 雑支出	16,598	92,908,097	119,783,012
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
経常利益			158,629,676
5. 特別損失			
(1) 過年度損益修正損	227,725		
(2) 解体撤去事業費	39,662,000		
(3) 固定資産除却費	2,545,615	42,435,340	△ 42,435,340
<hr style="border-top: 1px dashed black;"/>			
当年度純利益			116,194,336
前年度繰越利益剰余金			80,978,811
当年度開始欠損金			△ 98,472,989
当期末処分利益剰余金			<u>98,700,158</u>

(3) 令和3年度 能代市水道事業貸借対照表
(令和4年3月31日)

(単位 円)

		資 産 の 部		
1	固 定 資 産			
(1)	有形固定資産			
	イ 土 地		185,556,080	
	ロ 建物	721,985,239		
	減価償却累計額	<u>△ 299,335,582</u>	422,649,657	
	ハ 構築物	19,444,850,969		
	減価償却累計額	<u>△ 7,755,387,802</u>	11,689,463,167	
	ニ 機械及び装置	3,067,420,727		
	減価償却累計額	<u>△ 2,214,247,767</u>	853,172,960	
	ホ 車両運搬具	12,853,996		
	減価償却累計額	<u>△ 9,254,876</u>	3,599,120	
	ヘ 工具器具備品	131,216,799		
	減価償却累計額	<u>△ 97,949,874</u>	33,266,925	
	ト 建設仮勘定		7,537,000	
	有形固定資産合計			13,195,244,909
(2)	無形固定資産			
	イ 電話加入権		581,600	
	ロ 橋りょう利用権	12,647,858		
	減価償却累計額	<u>△ 9,746,338</u>	2,901,520	
	無形固定資産合計			3,483,120
	固定資産合計			13,198,728,029
2	流 動 資 産			
(1)	現金預金		614,065,967	
(2)	未収金		157,737,100	
(3)	貸倒引当金		△ 1,622,699	
(4)	貯蔵品		9,000,985	
(5)	前払金		0	
(6)	その他流動資産		8,681,231	
	流動資産合計			787,862,584
	資産合計			13,986,590,613
		負 債 の 部		
3	固 定 負 債			
(1)	企業債			
	イ 建設改良等の財源に充てるための企業債	5,428,179,857		
	ロ その他企業債	<u>81,738,000</u>		
	企業債合計		5,509,917,857	
	固定負債合計			5,509,917,857
4	流 動 負 債			
(1)	企業債			
	イ 建設改良等の財源に充てるための企業債	<u>483,221,000</u>		
	ロ その他企業債	<u>9,862,000</u>		
	企業債合計		493,083,000	
(2)	未払金		103,584,197	
(3)	引当金		5,385,000	
(4)	その他流動負債		<u>47,614,987</u>	
	流動負債合計			649,667,184
5	繰 延 収 益			
(1)	長期前受金		6,027,942,900	
(2)	長期前受金収益化累計額		<u>△ 2,898,255,596</u>	
	繰延収益合計			3,129,687,304
	負債合計			9,289,272,345
		資 本 の 部		
6	資 本 金			4,598,618,110
7	剰 余 金			
(1)	利益剰余金			
	イ 当年度未処分利益剰余金			
	繰越利益剰余金	80,978,811		
	当年度純利益	<u>116,194,336</u>		
	利益剰余金合計		197,173,147	
(2)	欠損金			
	イ 当年度未処理欠損金	△ 98,472,989		
	欠損金合計		<u>△ 98,472,989</u>	
	剰余金合計			98,700,158
	資本合計			4,697,318,268
	負債資本合計			13,986,590,613

3. 令和4年度の予算の概要及び事業の経営方針について

令和4年度水道事業会計予算は、業務の予定量として、給水戸数 21,080 戸、年間給水量 4,293 千m³を見込み、これらに必要な諸経費及び料金収入等を計上した。

収益的収支は、水道事業収益の 1,285,206 千円から消費税及び地方消費税分 92,220 千円を控除し、水道事業費用の 1,166,866 千円から消費税及び地方消費税分 79,325 千円を控除した結果、当年度純利益は 58,445 千円と見込んでいる。

資本的収支においては、主な事業として老朽ビニール管更新事業や、下水道工事に伴う配水管移設工事、水道施設遠方監視操作設備の更新、仁井田浄水場送水ポンプの更新などの建設改良費を計上した。

資本的収入においては、これら支出に対応する財源として、企業債、工事負担金等を計上した。

その結果、資本的収入 343,280 千円、資本的支出 794,600 千円となり、差引 451,320 千円の財源不足となる見込みであり、損益勘定留保資金等で補てんすることとしている。

令和4年度の収益的収支については、給水戸数見込みの増により給水収益は増加するものの、北部地区配水管整備事業の完了による減価償却の開始や経営戦略策定、料金徴収システムの更新により純利益は減少する見込みである。

給水収益については、減少傾向が続くものと見込まれるが、当面は安定した経営が維持できる見込みとなっており、市民に安全で良質な水道水を安定して供給するための各種事業を計画的に行っていく。